

2016年9月期第2四半期決算説明会

2016年6月1日 兜町平和ビル
株式会社CSSホールディングス

- | | |
|-------------|-------|
| ・ 連結業績 | 1～ 4 |
| ・ 各セグメントの業績 | 5～16 |
| ・ 今後の取り組み | 17～19 |



証券コード2304

連結業績

【会社名】	株式会社CSSホールディングス
【本社所在地】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【設立】	1984年(昭和59年)12月
【資本金】	393百万円
【発行済株式総数】	5,285,600株
【決算期】	9月
【代表者】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【連結従業員数】	5,611名（うち、パート・アルバイト 5,085名）（2016年3月31日現在）

連結業績（PL）

■ 前期との比較

（単位：百万円）

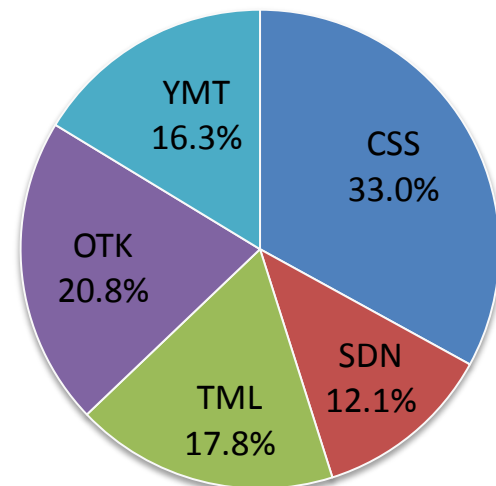
	15年9月期 第2四半期	16年9月期 第2四半期	差異
売上高	8,777	9,835	1,057
営業利益	264	443	179
経常利益	252	413	161
当期純利益	175	321	145
1株あたり当期純利益（円）	34.87	63.71	28.84

■ 計画との比較

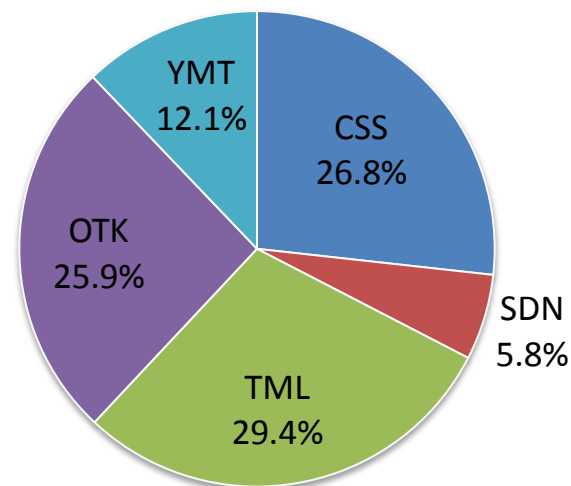
（単位：百万円）

	16年9月期第2四半期		差異
	計画	実績	
売上高	8,967	9,835	868
営業利益	289	443	154
経常利益	237	413	176
当期純利益	181	321	140
1株あたり当期純利益（円）	35.88	63.71	27.83

■ 事業別売上高構成比率



■ 事業別営業利益構成比率



連結業績 (BS、CF)

■ 連結貸借対照表

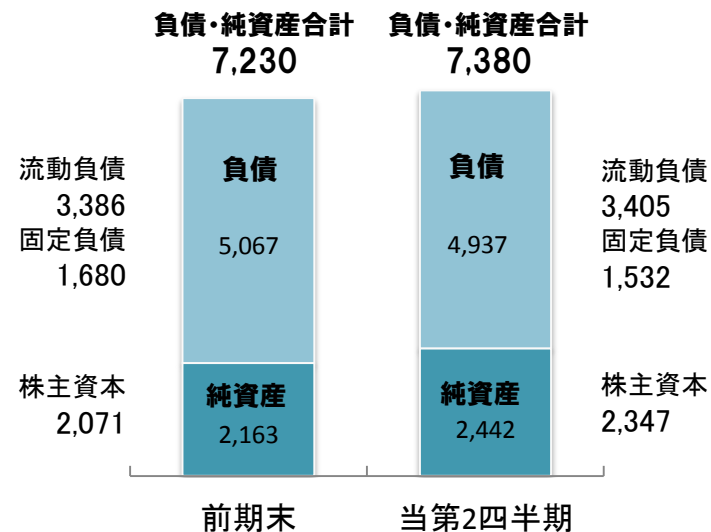
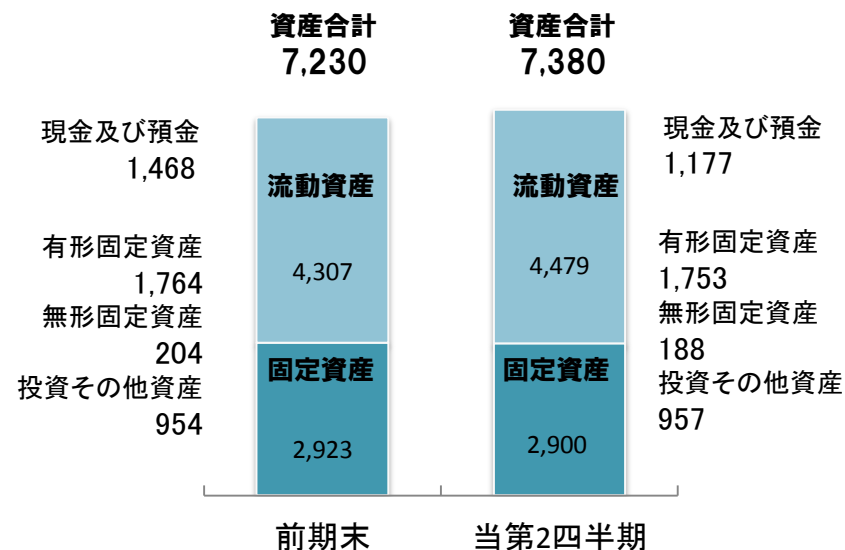
(単位:百万円)

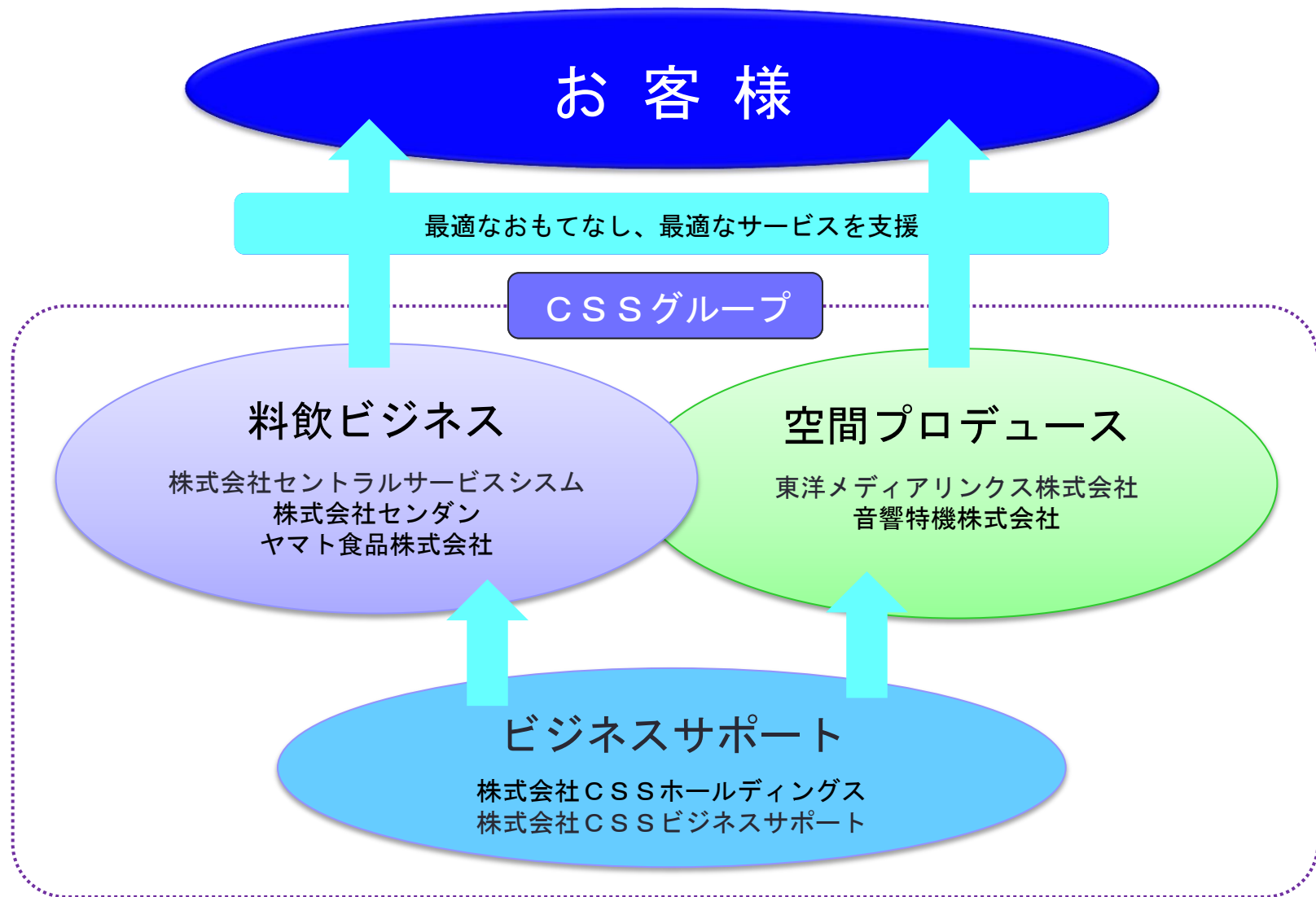
	前期末 15年9月末日現在	当第2四半期 16年3月末日現在	差異
資産合計	7,230	7,380	149
流動資産	4,307	4,479	172
固定資産	2,923	2,900	△ 23
負債合計	5,067	4,937	△ 130
流動負債	3,386	3,405	18
固定負債	1,680	1,532	△ 148
純資産合計	2,163	2,442	279
株主資本	2,071	2,347	275
評価・換算差額等	91	95	3
負債・純資産合計	7,230	7,380	149

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	15年9月期 第2四半期 累計期間	16年9月期 第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 318	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	663	△ 188
現金及び現金同等物の増減額	324	△ 125
現金及び現金同等物の期首残高	1,089	1,302
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	8	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,423	1,177





スチュワード管理事業

株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

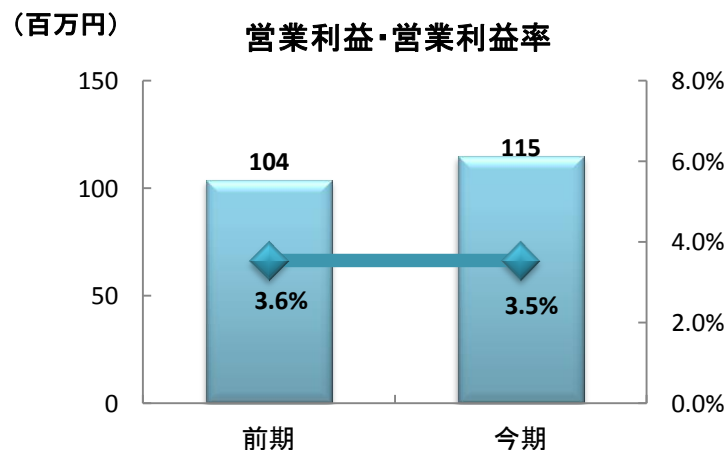
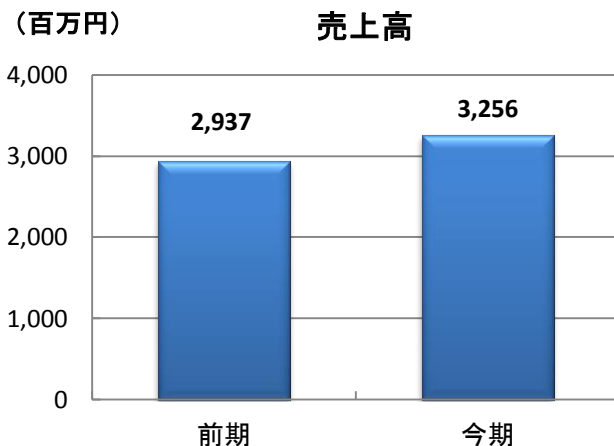
【事業内容】	食器洗浄を中心としたスチュワード管理業務
【主要顧客】	ホテル、レストラン、会館

会社概要

【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 三瓶 秀男
【従業員数】	4,525名〔うち、パートナー（パート・アルバイト）4,340名〕
【事業所】	全国153事業所（2016年3月31日現在）

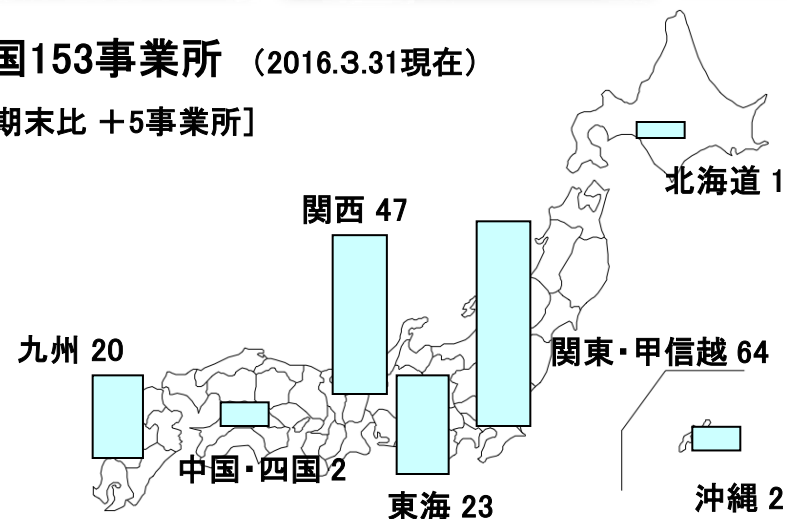
スチュワード管理事業 (CSS)

■ 前期との比較



全国153事業所 (2016.3.31現在)

[前期末比 +5事業所]



総合給食事業

株式会社センダン（SDN）

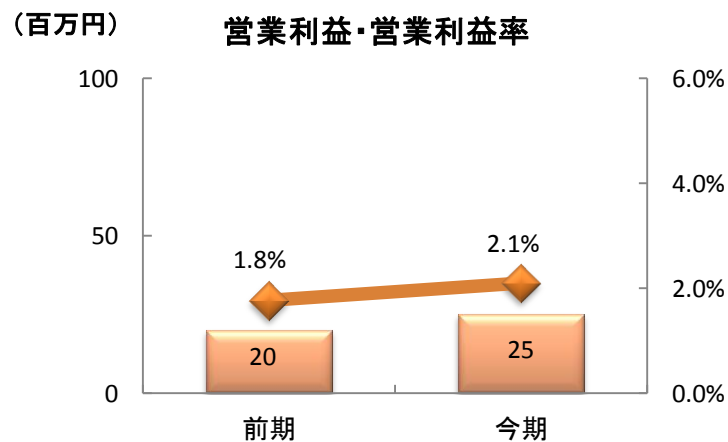
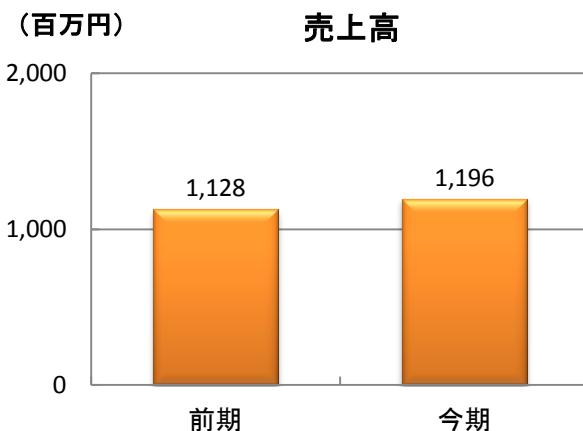
【事業内容】	従業員食堂、レストランの運営およびフードサービス全般
【主要顧客】	ホテル、一般企業、学校、病院、介護施設

会社概要

【設立】	1997年1月（02年12月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 磯邊 和彦
【従業員数】	638名 [うち、パートナー(パート・アルバイト) 526名]
【事業所】	全国86事業所（2016年3月31日現在）

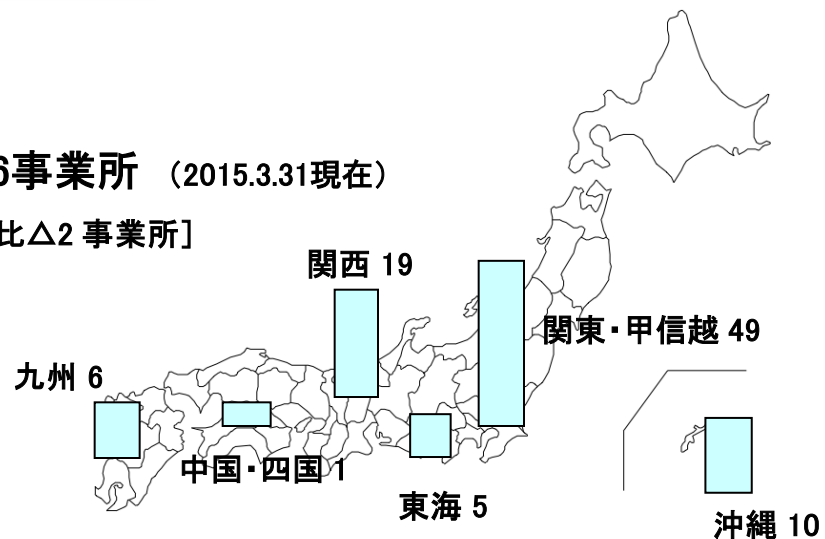
総合給食事業 (SDN)

■ 前期との比較



全国86事業所 (2015.3.31現在)

[前期末比△2 事業所]



映像・音響機器等販売施工事業

東洋メディアリンクス株式会社（TML）

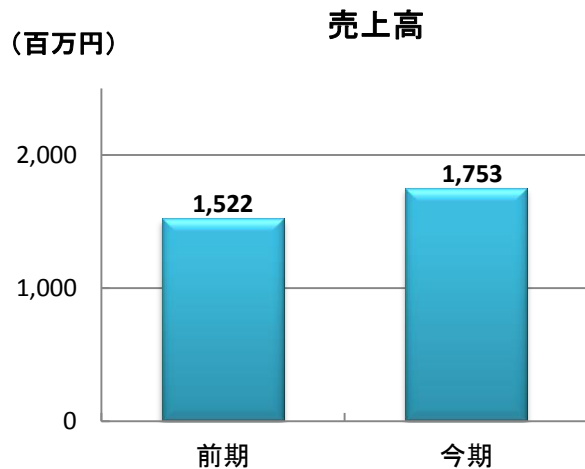
【事業内容】	BGMのパイオニア企業としての音楽関連業務 セキュリティシステム、映像・音響システムの設計施工業務
【主要顧客】	金融機関、商業施設、ホテル、公共施設

会社概要

【設立】	1962年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	50百万円
【代表者】	代表取締役社長 森永 洋一郎
【従業員数】	75名

映像・音響機器等販売施工事業（TML）

■ 前期との比較



セキュリティカメラ設備



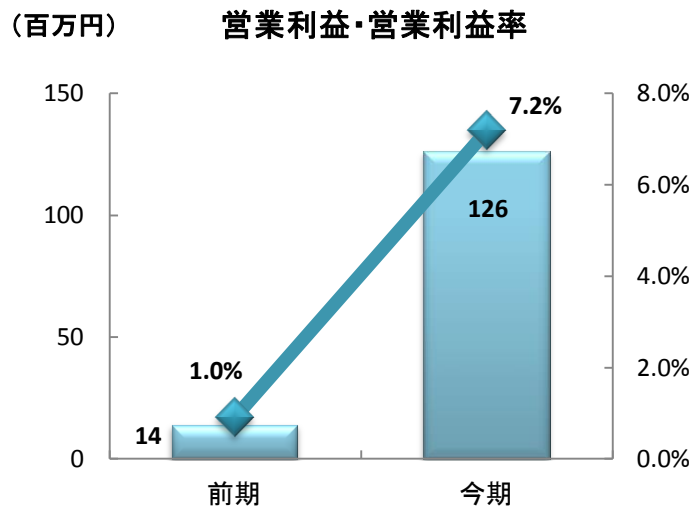
Scent Wave(香)



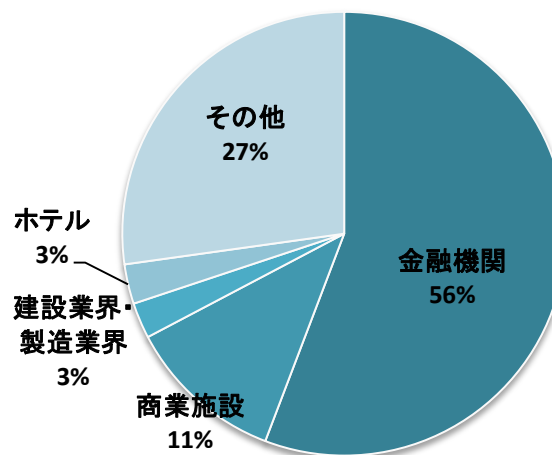
エムズスピーカー



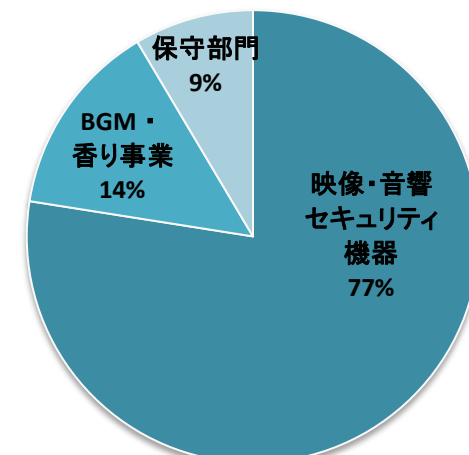
デジタルサイネージ



顧客別売上構成比



商品別売上構成比



音響・放送機器等販売事業

音響特機株式会社（OTK）

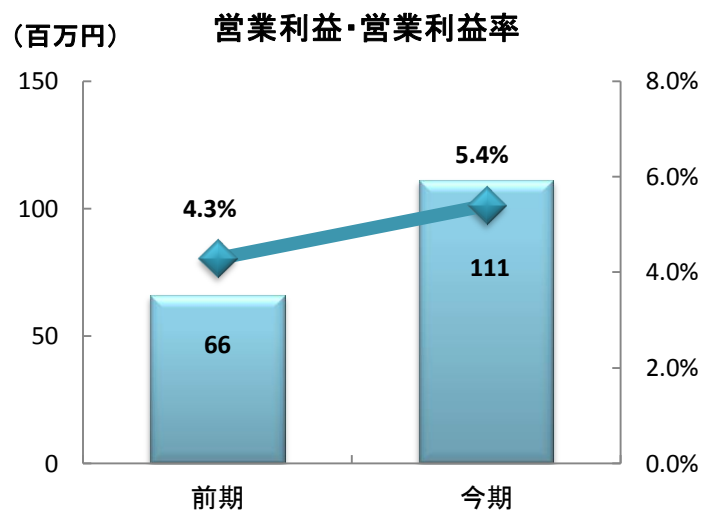
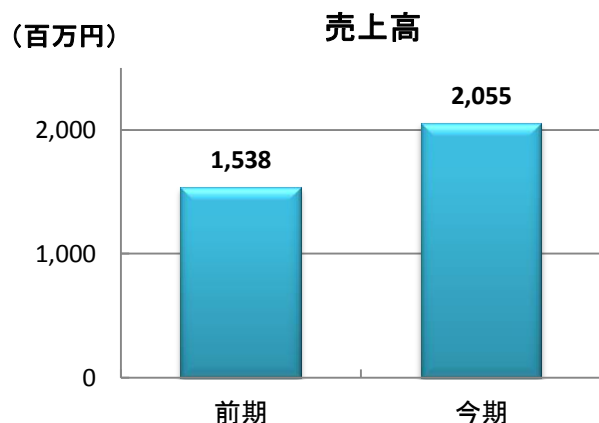
【事業内容】	大型スピーカーやアンプなど、プロフェッショナル向け 音響機器の輸入・販売
【主要顧客】	音響設備会社、劇場・ホール、ホテル、放送局

会社概要

【設立】	1979年8月（06年4月 連結子会社化）
【資本金】	100百万円
【代表者】	代表取締役社長 辻 勝太郎
【従業員数】	36名

音響・放送機器等販売事業（OTK）

■ 前期との比較



主な取り扱いブランド

<国内ブランド>

■ ヤマハ ■ ティアック ■ ローランド
■ カナレ ■ パナソニック ■ TOA

<海外ブランド>

■ EAW (90.4月) 米国 スピーカー
■ BIAMP (04.11月) 米国 オーディオ用シグナルプロセッサ
■ QSC (08.3月) 米国 パワーアンプ、スピーカーシステム
■ MACKIE (09.2月) 米国 スピーカー・アンプ
■ ATLONA (15.10月) 米国 映像関連機器

食材販売事業

ヤマト食品株式会社（YMT）

【事業内容】	献立付食材販売、受託給食
【主要顧客】	高齢者福祉施設、建設現場事務所

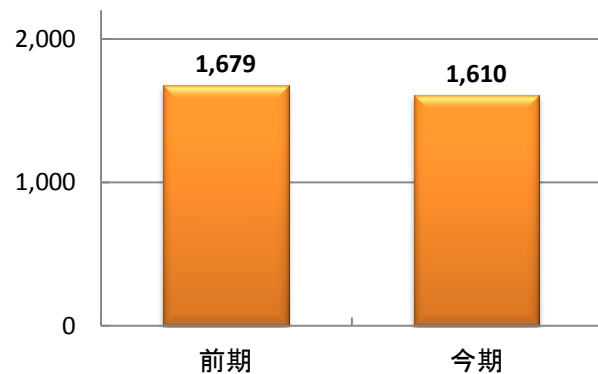
会社概要

【設立】	1976年(昭和51年)7月(14年10月 連結子会社化)
【資本金】	10百万円
【代表者】	代表取締役社長 岩見 元志
【従業員数】	563名 [うち、パートナー(パート・アルバイト) 462名]
【営業所】	全国 9営業所 (2016年3月31日現在)

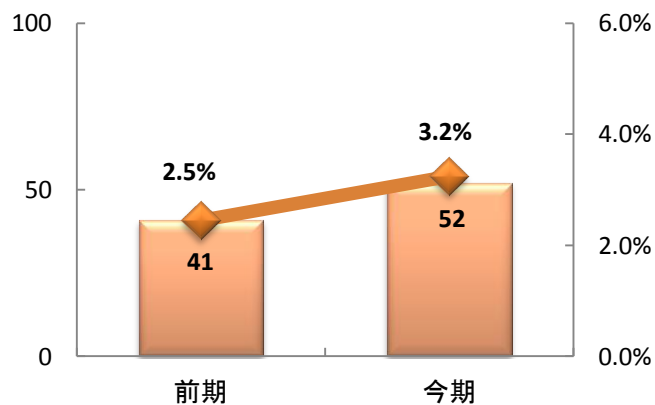
食材販売事業 (YMT)

■ 前期との比較

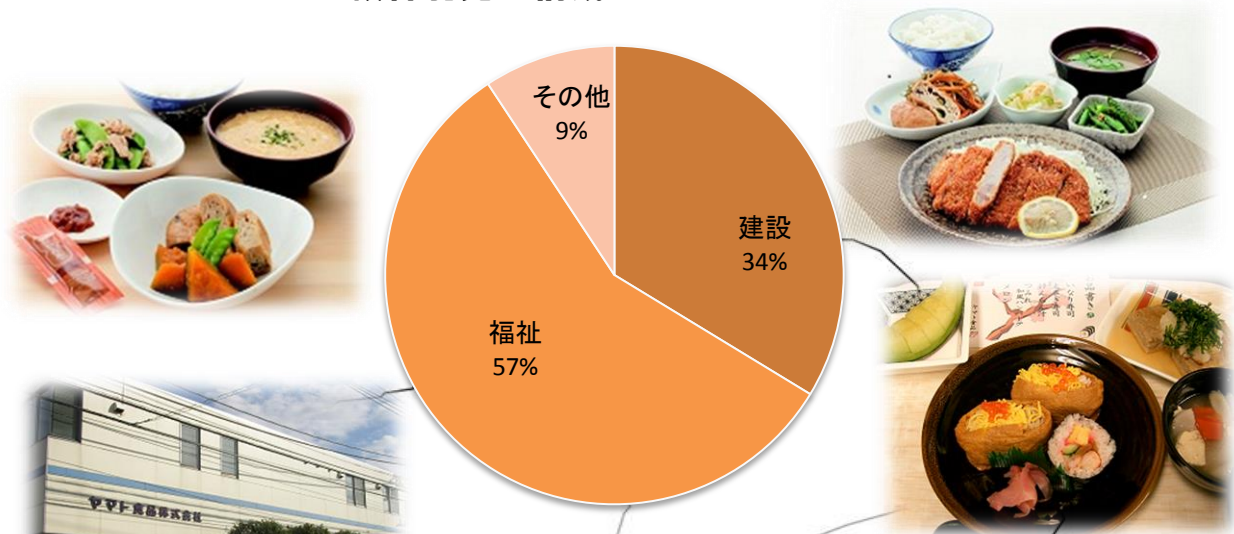
(百万円) 売上高



(百万円) 営業利益・営業利益率



顧客別売上構成比



全国 9営業所
(2016.3.31現在)



総務・人事・経理管理事業

株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

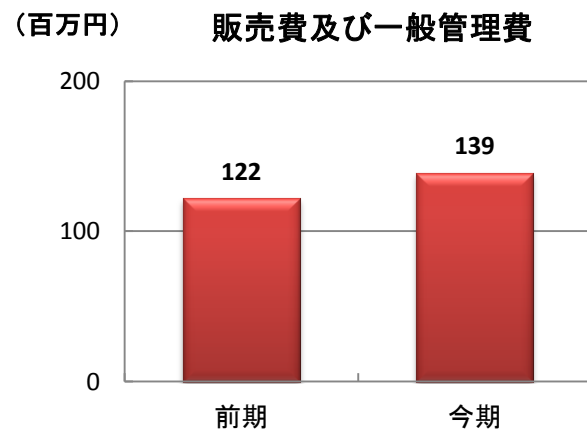
【事業内容】 グループ会社からの総務・人事・経理業務の受託

会社概要

【設立】	2008年4月1日（新設分割により設立）
【資本金】	10百万円
【代表者】	代表取締役社長 川勝 雄介
【従業員数】	32名 [うち、パートナー(パート・アルバイト) 9名]

総務・人事・経理管理事業 (CBS)

■ 前期との比較



今後の取り組み

今後の取り組み（CSS、SDN、TML、OTK、YMT 下期の施策）

CSS

■ 下半期は概ね、前年並みの売上を確保しつつ、新規大型案件の獲得を目指す。不採算事業所の契約交渉を行うことで利益体質の強化を企図する。

SDN

■ 話題性のあるイベント・メニューの工夫により従業員食堂としての付加価値を高める。熊本市内の事業所については、地震の影響を受け、顧客ホテルの営業再開の目途が立たないことから、収益に及ぼす影響はあるものの、全国レベルでの営業活動強化により新規案件の獲得を目指す。衛生管理に関する本部機能を強化、各事業所へのきめ細かい指導を徹底。

TML

■ 金融営業部門では通年推進中のプロジェクト件名の継続販売及び店舗単位でのリニューアル案件の獲得を目指す。また関西での件名拡大を推進。音楽BGM事業については、訪日外国人の増加に伴う多言語放送の制作拡大とCDからインターネット配信へのリプレース加速。下半期は上半期に比べ、売上規模が小さくなることから、固定費がカバーしきれず営業損失見込み。

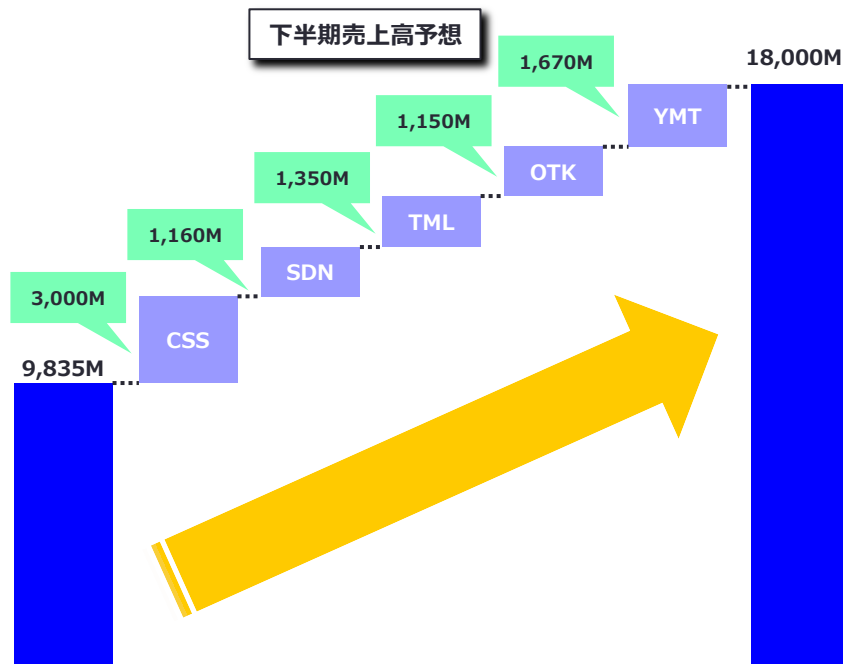
OTK

■ 下半期は上半期の実績を基礎として確実に売上を積上げることで前年以上の売上高を確保。また、全国規模での営業活動の更なる充実を図るべく、東北エリアでの販売拠点確保を企図することから、費用拡大、営業損失を見込む。

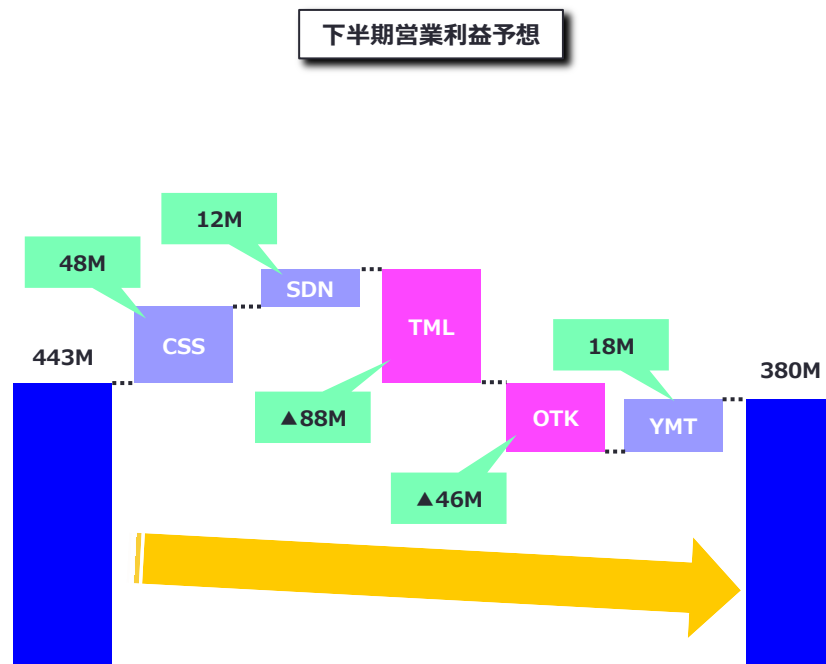
YMT

■ 下半期は、上半期にスタートした高齢者福祉施設を全国展開する大手企業との連携強化による売上拡大を目指す。仕入の一元化による原価低減の取組み継続、土曜日特別配送廃止による休日勤務削減、販売管理システムの導入による業務の効率化。

下半期売上高予想



下半期営業利益予想



今後の取り組み 中期経営計画の進捗状況と最終年度へ向けてのステップ

- 現時点でのCSSグループの業績は、事業会社ごとに強弱はあるものの、中期経営計画に沿った内容で、概ね順調に推移している。
- 既存事業については、最終年度へ向けて更に収益を積上げ、M&Aについても情報収集を深化させることで実効性を高め、目標達成向けグループが一体となって取組む。

既存事業

FY2016の予想の時点で、中期経営計画最終年度における売上高、営業利益における目標値を達成。

売上高達成率 102.2%
営業利益達成率 103.3%

M&A

FY2016の予想の時点で、2件のM&Aを実施、売上規模約37億。

売上高達成率 74.0%

連結

FY2016の予想の時点で、既存事業+M&Aで売上高180億、営業利益3.8億
最終目標まで、売上高においてあと20億、営業利益においてあと0.2億

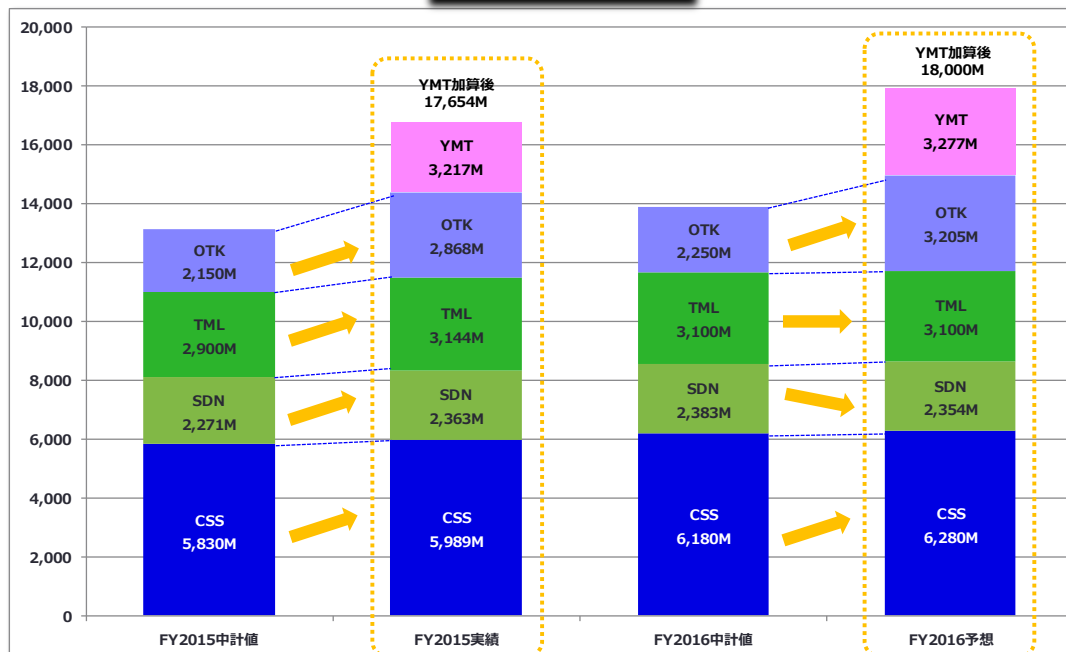
売上高達成率 90.0%
営業利益達成率 95.0%

中期経営計画と実績

(単位：千円)

既存事業		FY2015中計値	FY2015実績	FY2016中計値	FY2016予想
CSS	売上高	5,830,000	5,988,811	6,180,000	6,279,877
	営業利益	185,111	154,856	193,137	171,094
SDN	売上高	2,271,015	2,363,439	2,382,878	2,353,754
	営業利益	13,891	44,815	29,752	40,848
TML	売上高	2,900,000	3,144,429	3,100,000	3,100,000
	営業利益	50,000	41,774	60,000	60,000
OTK	売上高	2,150,000	2,868,292	2,250,000	3,205,178
	営業利益	35,000	83,884	38,000	83,380
4社合算					
既存事業	売上高	13,151,014	14,364,971	13,912,879	14,938,809
	営業利益	284,001	325,329	320,890	355,322
M&A		—	FY2015実績	—	FY2016予想
YMT	売上高		3,217,872		3,277,322
	営業利益		21,747		75,875
目指すべき案件	売上高				2,000,000
	営業利益				40,000
連結		—	FY2015実績	—	FY2016予想
M&A実施後	売上高		17,654,369		18,000,000
	営業利益		334,375		380,000
営業利益率			1.89%		2.11%

売上高中計比較



本資料についてのご注意

本資料は参考資料であり、正確な決算数値等は当社決算短信および有価証券報告書をご参照願います。また、本資料に記載の業績に関する見通しや計画等には、不確定要因を含んでおります。実際の業績などは、当社の事業を取り巻く経済情勢等の様々な要素により異なる可能性があることをご承知おき願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社CSSホールディングス グループ経営管理室

TEL	03-6661-7840
FAX	03-6661-7841
E-MAIL	info@css-ltd.co.jp

連結ファクトシート

	11年9月期	12年9月期	13年9月期	14年9月期	15年9月期
1株あたり純資産額(円)	308.23	320.75	350.02	382.43	428.86
1株あたり当期純利益金額(円)	1.47	11.04	22.59	33.67	50.23
自己資本比率(%)	26.0%	23.4%	30.9%	33.8%	29.9%
自己資本利益率(%)	0.5%	3.4%	6.5%	8.8%	11.7%
総資産経常利益率(%)	1.3%	1.3%	1.9%	3.7%	4.5%
総売上経常利益率(%)	0.7%	0.7%	0.9%	1.7%	1.8%

(注)当社は、平成25年10月1日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っております。当該株式分割については、第25期の期首に株分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。